

9月12日

テーマ：「五つのパンと二匹の魚」

聖書箇所：ヨハネの福音書6章1節～14節

◆今日のみことば

彼らは集めてみた。すると、天麦のパン五つから出て来たパン切れを、人々が食べたうえ、なお余ったもので十二のかごがいっぱいになった。ヨハネ福音書6章13節

◆メッセージ

みなさんは、計算は得意ですか？算数は好きですか？きらい、苦手…という人もいると思います。1+1=2、5×3=15…足し算、かけ算など、たくさん習いますね。

さて、今日はイエスさまのお弟子さん、ピリポさんという人が出て来ます。ピリポさんは、ガリラヤ湖の周りに集まっている5千人（女性や子どもを含めると1万人以上！）もの人を前にして、

イエス様にこう聞かれました。「どこからパンを買って来て、この人々に食べさせようか。」

イエスさまは、ピリポさんをためしてこう言ったのです。ピリポさんは、計算します。「それぞれが少しずつ取るにしても、二百デナリのパンでは足りません。」

（二百デナリ→1デナリは1日分のお給料）とても自分たちで買うことのできる数ではないと答えました。もう一人のお弟子さん、アンデレさんも

「少年がパン五つと小さい魚二匹を持っています。でも、それが何になりましょう。」とイエスさまに言います。お弟子さんたちの考えは、

できるはずがありません！という答えでした。しかし、イエスさまは、その5つのパンと2匹の魚を取って、感謝をささげて、人々に分けて下さいました。すると、何とすべての人が十分に食べることができました。そして、五つのパンから出たパン切れを人々が十分食べて

後、余ったパン切れが十二のかごいっぱい集まったのです。

お弟子さんや私たちの考え、計算ではとても考えられない奇跡が起きました。イエスさまには、それがおできになるのです。お弟子さんたちは、イエス様にはおできになるということは考えず、自分たちの考え、

計算で頭を悩ませてしまいました。イエス様がピリポさんをためした「どこからパンを…」という答えは、「イエス様から！」です。そして、イエス様が手に取り、感謝をささげた五つのパンと

二匹の魚が、あふれるほどの数になり、たくさんの人々を満たしたのです。

お祈り

「天の父なる神様。私たちの考え、計算よりも素晴らしいお考え、奇跡を行なってくださることを感謝します。イエス様を通して、私たちの心もからだも、イエス様がくださるパンでいっぱい満たして下さい。」